

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 6 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県西磐井郡平泉町平泉字樋の沢56	
氏 名 大協企業株式会社	
代表取締役 村上 直毅	
電話番号 0191-34-2131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大協企業株式会社 矢巾工場
事業場の所在地	岩手県紫波郡矢巾町藤沢10地割13
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製造製品出荷額 2億8335万円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートくず→中間処理業者 汚泥→中間処理業者

（日本工業規格 A列4番）



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長(産業廃棄物外注管理責任者)

製造試験課(公害防止統括者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排出量	1678 t	84 t
	（これまでに実施した取組） ○コンクリートくず 排出するコンクリートくずのほとんどが納入現場で発生する戻りコンクリートであるため、過剰な発注とならないよう、施工者との連絡調整を密に実施している。 ○汚泥 コンクリートの練り混ぜ水できる限り使用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排出量	1630 t	60 t
	（今後実施する予定の取組） ○コンクリートくず 排出する戻りコンクリートの受け入れ有料化等により、施工者側の意識を残コン減量への推進に取り組む。 ○汚泥 コンクリートの練り混ぜ水にできる限り使用する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	1678 t	84 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1678 t	84 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	○コンクリートくず 全量を処理委託し路盤材への再生を行っている。		
	○汚泥 戻りコンクリートは再生路盤材へ、スラッジ水は練り混ぜ水に使用し、工場で処理できなければ処理業者に委託している。		

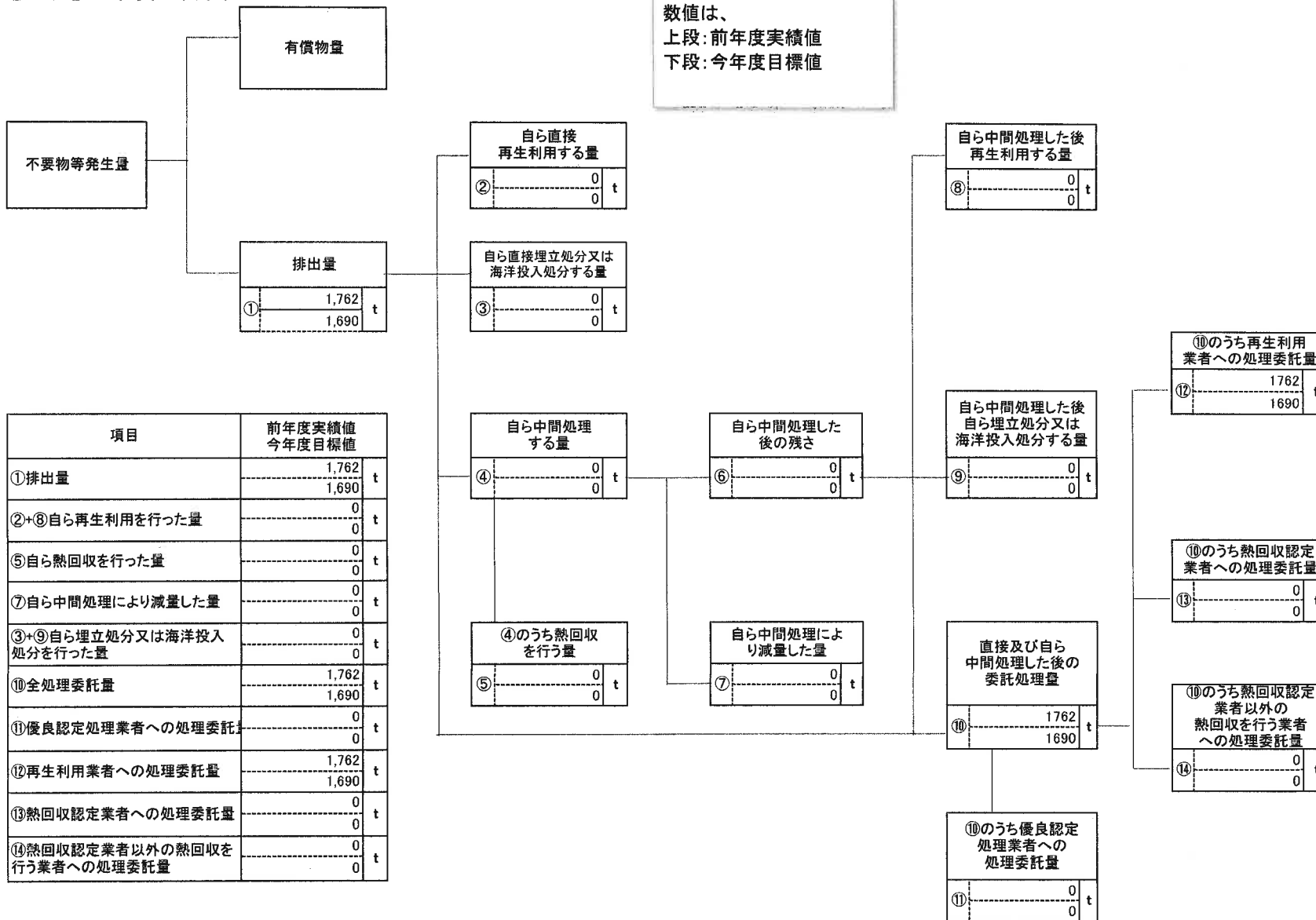
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全 処 理 委 託 量	1630 t	60 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1630 t	60 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ○コンクリートくず 全量を処理委託し路盤材への再生を行う。 ○汚泥 戻りコンクリートは再生路盤材へ、スラッジ水は練り混ぜ水に使用し、 工場で処理できなければ処理業者に委託する。		
	※事務処理欄		

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 合計)

)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: コンクリートくず)

数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

排出量

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	1,678	1,630	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩全処理委託量	1,678	1,630	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,678	1,630	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	t

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

自ら直接再生利用する量

②

0	t
0	t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③

0	t
0	t

自ら中間処理する量

④

0	t
0	t

④のうち熱回収を行う量

⑤

0	t
0	t

自ら中間処理した後の残さ

⑥

0	t
0	t

自ら中間処理により減量した量

⑦

0	t
0	t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧

0	t
0	t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨

0	t
0	t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩

1678	t
1630	t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

0	t
0	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

1678	t
1630	t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

0	t
0	t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

0	t
0	t

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

